

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330441113	小学家庭 Home Economics of Primary School	長拓実			1	選択	4前期
<b>科目の概要</b>							
小学校家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指している。本科目では、「家庭科研究」および「家庭科教育法」で学んだことを応用し、児童の生活がより豊かになるための実践ができるようになることを目的とする(DP3)。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 学習指導要領の目標や内容を理解する。 ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をする。 ③ 応用的な指導技術を身に付け、模擬授業を行う。				① 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説の目標や内容を説明することができる。 ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をすることができる。 ③ 応用的な指導技術を身に付け、模擬授業を行うことができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと様々な方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。					
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編」文部科学省 「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「小学家庭」は専門科目の小学校領域に配置されており、「家庭科教育法」で獲得した知識・技術を活用する。 資格との関連：小学校教諭一種（選択）							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・愛知県総合教育センターに掲載されている学習指導案を参考にします。 ・国立教育政策研究所が刊行した『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校編）』の家庭科に関する内容を読みましよう。				・遅刻は20分以内とします。 ・模擬授業で必要なものは全て各自で準備してください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	60	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時のワークシートを評価する。(10点)</li> <li>模擬授業時に提出した学習指導案を評価する。(20点)</li> <li>模擬授業後に修正した学習指導案を評価する。(30点)</li> </ul>
				②		✓	
				③		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業の様子を評価する。(30点)</li> </ul>			
		②					
		③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確な文章で表現できる。 （傾聴力）グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で十分に詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って大変円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。小テストにおいて、小学校学習指導要領の家庭科における目標や内容を正確に説明することができる。</p> <p>A：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。小テストにおいて、小学校学習指導要領の家庭科における目標や内容をある程度説明することができる。</p>	<p>B：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントのある程度活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。小テストにおいて、小学校学習指導要領の家庭科における目標や内容をある程度説明することができる。</p> <p>C：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。小テストにおいて、小学校学習指導要領の家庭科における目標や内容を正確に説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス データから見る小学生の生活の変容	講義 グループディスカッション	指導対象となる小学生の生活の実態を把握することができる。	〈予習〉小学生の生活に関する調査結果を収集する。 〈復習〉小学生の生活の変容をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
2	学習指導要領の解説	講義	小学校家庭科の目標や内容、単位数、指導上の留意点が説明できる。	〈予習〉小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編を読む。 〈復習〉小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編のポイントを整理する。	180	主体性 実行力 規律性
3	家庭科の学習内容の範囲： 年間指導計画を読み解く	講義	家庭科の学習内容の範囲を見通すことができる。	〈予習〉小学校家庭科の年間指導計画を調べる。 〈復習〉小学校家庭科の年間指導計画のポイントを整理する。	180	主体性 実行力 規律性
4	評価方法の検討	講義 グループワーク	家庭科の評価方法、とくに技能の習得に関して、理解できる。	〈予習〉国立教育政策研究所が公刊した、「指導と評価の一体化」を熟読する。 〈復習〉家庭科の評価方法に関するポイントをまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
5	教科書調査	講義 グループワーク	教科書の構成を把握することができる。	〈予習〉指定の教科書を読む。 〈復習〉教科書の内容と学習指導用との対応を確認する。	180	主体性 実行力 規律性
6	教材研究の方法： 情報機器の使用法を含む	模擬授業 グループワーク	家庭科の教材研究の方法を理解することができる。	〈予習〉家庭科の実践研究を調べる。 〈復習〉テーマに沿った教材研究を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習指導案の構成	模擬授業 グループワーク	学習指導案の構成を理解することができる。	〈予習〉学習指導案の書き方を調べる。 〈復習〉学習指導案を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	学習指導案を検討する	模擬授業 グループワーク	より良い授業を展開するために学習指導案を改善することができる。	〈予習〉学習指導案を作成する。 〈復習〉模擬授業にむけて、学習指導案を修正する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家庭科の授業研究の特徴	模擬授業 グループワーク	家庭科の授業研究の特徴を理解することができる。	〈予習〉家庭科の授業研究の指導案を読む。 〈復習〉家庭科の授業研究の特徴の特徴をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業の準備： 教材・教具の検討 小テスト（学修到達度を測る）	模擬授業 グループワーク	模擬授業の準備を進めることができる。 自身の模擬授業に沿った教材・教具を検討することができる。	〈予習〉模擬授業用の指導案を作成する。 〈復習〉模擬授業に向けて、教材・教具を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる。 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを考えることができる。 他者の授業に適切なコメントをすることができる。	〈予習〉学習指導案を作成する。 模擬授業の準備をする。 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる。 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを考えることができる。 他者の授業に適切なコメントをすることができる。	〈予習〉学習指導案を作成する。 模擬授業の準備をする。 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる。 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを考えることができる。 他者の授業に適切なコメントをすることができる。	〈予習〉学習指導案を作成する。 模擬授業の準備をする。 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	模擬授業	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる。 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを考えることができる。 他者の授業に適切なコメントをすることができる。	〈予習〉学習指導案を作成する。 模擬授業の準備をする。 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド：まとめ 自身の模擬授業および他者の模擬授業を比較する	動画視聴 個別学修	他者の模擬授業と自身の模擬授業を比較し、振り返りや改善に向けての手立てを検討することができる	〈予習〉模擬授業後に指摘された内容を修正した（改良版）学習指導案を作成する 〈復習〉予習で作成した（改良版）学習指導案を更に加筆・修正を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力